

主催者(利用者)の方へのお願い

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、人が集まる場の前後を含めた適切な感染予防対策の実施にご協力ください。

対策例をあげていますので、参考にしていただき、各利用者において工夫した対策をお願いします。

参加者への確認

- 発熱・風邪の症状がないか。(具合の悪い方の参加を認めない。)
- 会場に入る前と出る前の手指消毒を実施しているか。
- 常時マスク(必ず不織布マスク)の着用**、咳(せき)エチケット等の指導をしたか。
アレルギー等により不織布マスクの着用が困難な方は、ご自身のマスクの上からの着用でも構いません。

感染防止対策の実施

(出入口)

- 入退出時は、人と人との十分な間隔(2mを目安)を確保するように誘導は適正に行われているか。
- パンフレット等の配布物を手渡して配布していないか。

(会場内)

- 参加者同士の間隔は2メートル以上(最低1メートル)空いているか。
少人数での利用。(大声での会話、活動は原則禁止)
近距離での会話や発声は飛沫感染等の防止のため特に注意する。
水分補給以外の飲食禁止。
- 参加者の配席は基本的に横並びとなっているか。
対面の場合、距離を概ね2m以上あけ、声を出す機会を最小限にする。
- 講師と参加者の間隔は2メートル以上あいているか。
- 換気は適正に行われているか(1時間に2回以上、数分間しっかり換気)
窓、入口等の開放。常時開放が難しい場合は、定期的な開放を実施。換気設備があれば、適切に運転する。換気の悪い密閉空間をつくらない。
会議終了後は、入口を開けたままにし、事務所へ終了した旨の連絡をする。
- 参加者全員の氏名、連絡先、住所に加え、「**座席**」の把握も行い、**誰がどこに座っていたかわかるようにしているか。**
- 講演会・イベント前に、厚生労働省提供の、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)やえひめコロナお知らせネットの登録・利用者のQRコード読み取りを促しているか。
- 万が一、参加者に感染者が出た場合に、感染経路の特定や、保健所や医療機関等への情報提供ができるよう、参加者の氏名等の情報や体調、行動歴などを把握しておくこと。
※個人情報の取扱いに十分注意すること(1か月程度保管後、適正に廃棄する)

仮にこうした対策を行えた場合でも、その時点での流行状況に合わせて、急な中止又は延期をしていただく備えも必要です。講演会やイベントの開催にあたっては慎重な判断をお願いいたします。